

藤岡啓介の翻訳玉手箱 第3篇
公開講座 プロになるぞ！！ 第8回
コメント一覧

in attendance on
～に付き添って。

melancholy
流行りの漢字テストで得意がる「憂鬱な」ですが、現代日本語で使うかな。カチカチの文章語でしょうね。ここはいかにコリンズが昔の人であっても「陰気な」がいいでしょう。

who appear to accept the obligation of living under protest,
livingは「生きていく」ですね。「生活する、暮らす」ではないな。

burden
「重荷」。徳川家康の言葉がありますね。「人の一生は、重荷を負うて遠き路を行くがごとし」。人生、重荷、の発想は古今東西変わりませんね。

見たところこれといって魅力のない、かなりの年のいった陰気な人だった。
原文では「.....の中年女、魅力のない」と続きますが、日本語では左の訳例にある語順かな。「これといって」「かなりの」というひらがなの言葉でくるむと感じのよくない女性の「良くない」ところがぼけてきますね。

妻に長い間かまってやれず
誤訳。動詞leaveでつまずいたな！ 難しい動詞だけど、ここで翻訳者は得意になるものです。勉強、勉強！

決してかかえようとしなかった重荷のように、保護のもとで暮らすという
論旨が分からない。英文科の教室で、ごちゃごちゃと口頭で訳している分には通じるのかも知れないけど、文に書くとバテしてしまう。

ある種のあきらかな
この形容も変だな。

独身のままでいる一人娘
未婚、一人娘、と二つの情報があるので、どこか滑らかな訳文にならない。二つに分けよう。

意思

「意思」かな？「意志」だね。辞書で語義をよく調べてください。それと、訳文であえて「意志」を使わなければならないのかな。

彼女はあたかも「夕食」が習慣的に男性が託し、女性が我慢をするという家庭の雰囲気悪くすることのようにその言葉を言いました。

「家庭の雰囲気」。こうして内容を理解しようと努力するのはいいけど、少し考えすぎ、悩みすぎかな。

あとについて

ぼくは下男に「従って」という日本語が気に食わないでfollowを無視してしまったけど、どうかな？